

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |               |    |                 |
|----------------|---------------|----|-----------------|
| ○事業所名          | feel大久保       |    |                 |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 11月 10日 |    | ～ 2025年 11月 24日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 85 | (回答者数) 41       |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 10月 30日 |    | ～ 2025年 11月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 9  | (回答者数) 9        |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 2月 25日  |    |                 |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※) だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること            | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮ができています。                      | メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にする、お子さまとお話するときは、文字や絵で表す、端的に伝える、大事な話を先にする、時間を空けて何回かお伝えするなど一人ひとりの特性に合わせて対応しています。                       | ・今後も継続して行いつつ、一人ひとりの特性やお気持ちや踏まえつつ、お子さまのその時の状況にあった柔軟な対応ができるようスタッフで連携を図っていきたく思います。<br>・保護者の方にも、正確な情報が共有できますよう、LINEや連絡アプリ、メール、スケジュール帳でのやり取りを丁寧に行っていきたく思っております。  |
| 2 | 子どもやご家族の方に事業所で相談できる場があることを伝え、相談や申し入れに対し迅速かつ適切に対応できている。 | 保護者様には家族支援やカウンセリングをご利用いただけることを、契約時やモニタリング時、また必要な際にその都度お伝えしております。また、職員一同、お子さまや保護者の皆様に気軽に相談していただけるような関係作りを心掛けております。           | ・今後も継続して行いつつ、もっと気軽にお子さまや保護者様が生活の中感じられている、気になること、不安なことなどを相談していただける場所となりますよう関係づくりを進めてまいります。<br>・送迎時に事業所での様子や、よかったところなどをお話ししたり、スケジュール帳に書いたりして、保護者の方にお伝えしていきます。 |
| 3 | 事業所の職員から共感的に支援をされている。                                  | 職員一同、お子さまとの信頼関係を大切にしています。お子さまの言葉や行動に反応せず、なぜそういう言葉や行動を選んだのかに目を向けるようにし、指示ではなく、一緒に考え、話し合うことで、お子さま自身が選択し、自己決定ができるようことを意識しております。 | ・今後も継続して、お子さまの主体性や自己決定につながる支援を行っていきます。<br>・スタッフのスキル向上のため、内部研修や外部研修に参加することで、お子さまの支援につなげていきます。  |

|   | 事業所の弱み(※) だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること       | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|---|---|---|
| 1 | 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所からの速やかな連絡や状況説明に不十分さが感じられる。 | いつもと違うご様子、ケガをした、お友だちとトラブルがあったなどの場合は、お電話、玄関、LINE、連絡アプリ等で必ずお伝えしておりますが、運動中での接触や遊びの中のものについてはお伝えが不十分であった可能性が考えられる。 | ・事故等が発生した際のお電話、玄関、LINE、連絡アプリ等でのお伝えは継続して行っております。<br>・体を使った遊びをしたり、運動をしたりした時には、事故の有無にかかわらず、その時のご様子などをお伝えし、お家での様子で何かあったら、教えていただけるようお声かけさせていただきます。                 |
| 2 | 保護者交流や研修などの機会についての周知や情報共有が不十分であると感じられる。           | お電話、玄関、LINE、連絡アプリ等でイベントや研修の開催状況や内容についてお知らせをしているが、具体的な内容や参加のメリットなどについての周知が十分ではなかった可能性が考えられる。                   | ・イベントや研修についてお伝えする際は、具体的内容や、どのような体験ができるかについても併せてお伝えできるようにしていきたいと思っております。<br>・保護者の方が参加しやすい日時の設定を意識してまいります。  |
| 3 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会に不十分さが感じられる。     | 地域交流を目的とした事業所主催の秋祭りを開催しているが、事業所からの距離がある、周知が十分ではないといった理由から参加につながりにくかった可能性が考えられる。                               | ・秋祭りにご参加していただきやすくなるよう、早めのご案内や連絡アプリ、SNSを使った周知を行った上で、行きたいとおもっていただけるような企画・催しを考えていきたいと思っております。<br>・co-opで開かれる笑くぼカフェや和坂マルシェといった地域行事に参加していることをその都度ご案内していこうと思っております。 |

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |               |    |               |
|----------------|---------------|----|---------------|
| ○事業所名          | connect大久保    |    |               |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 11月 10日 |    | 2025年 11月 24日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 13 | (回答者数) 7      |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 10月 30日 |    | 2025年 11月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 5  | (回答者数) 5      |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 2025年 11月 6日  |    | 2025年 11月 25日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数)        | 13 | (回答者数) 9      |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 25日  |    |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | お子さまやご家族からの相談があった際の、対応の体制が整備されているとともに、そのような場があることについて周知・説明され、迅速かつ適切に対応できている。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一同、お子さまや保護者様に気軽に相談していただけるような関係作りを心掛けております。</li> <li>・保護者様には 契約時やモニタリングの際に、また必要な際にその都度、家族支援などをご利用していただければ幸いです。</li> </ul>   | 今後も継続して行いつつ、もっと気軽にお子さまや保護者様が生活の中感じられている、気になること、不安なことなどを相談していただける場所となりますような関係・環境作りを進めてまいります。   |
| 2 | お子さまや保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている   | メモやLINE、メール等、後で見ても分かる形にしたり、お子さまとお話するときは、文字や絵で表したり、端的に伝えたり、大事な話を先にしたり、時間を空けて何回かお伝えしたりするなど一人ひとりの特性に合わせて対応しています。  | 保護者様や訪問先施設と正しく情報が共有できますよう、連絡アプリやLINE、書類、送迎時、面談にでのやり取りを丁寧に行っていきたく思っております。  |
| 3 | 事業所の支援に満足している  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様より日常のご様子をお聞きしたり、検査結果や普段のご様子をミーティングで共有したりすることで、お子さまの理解を深め特性に合った具体的支援につながるよう努めています。</li> <li>・学校訪問を行う際は、保護者様より、ご様子やご希望を都度お聞きし、学校生活や授業、行事の妨げにならないよう、訪問の日程を調整させていただいております。</li> <li>・必要に応じて療育で使用している教材やスケジュール表、写真を紹介するなどの情報共有を行っています。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様と支援方法やご希望等を日々共有したり、ミーティングで普段のご様子をそれぞれの担当スタッフが共有したりすることで、お子さまの理解を深めてまいります。</li> <li>・内部研修や外部研修に参加することで専門性や技術を高めていけるようスタッフ一同精進しております。</li> <li>・学校の先生との関係性を築きつつ、関係機関連携を使い、管理職の先生方とお話をする機会を設けていただき、学校全体や関係機関と連携していくことで、お子さまや保護者様にとって、意義のある支援につなげていきたく思っております。</li> </ul> |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること   | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|---|---|--|
| 1 | ご家族に対する支援や、研修、交流会を実施する機会が不十分であると感じられる。  | お電話、玄関、LINE、連絡アプリ等でイベントや研修の開催状況や内容についてお知らせをしているが、具体的な内容や参加のメリットなどについての周知が十分ではなかった可能性が考えられる。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや研修についてお伝えする際は、具体的内容や、どのような体験ができるかについても併せてお伝えできるようにしていきたいと思っております。</li> <li>・保護者の方が参加しやすい日時の設定を意識してまいります。</li> </ul>   |
| 2 | 訪問支援時に、お子さまや訪問先施設への負担にならないような訪問への入り方への配慮が十分ではないと感じられる。                          | 保護者さまやお子さまに訪問への入り方を事前に、直接・間接・遠くからなど、お聞きしてから訪問に入らせていただいているが、進級や授業内容、移動教室など、状況に合わせた対応が十分ではなかった可能性が考えられる。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援への入り方については、引き続き保護者やお子さま、訪問先施設と相談の上で行わせていただきます。</li> <li>・進級時やいつもと違う授業形態、移動教室などの際には、その都度訪問への入り方を、保護者や訪問先施設と相談し、状況に合わせた対応ができるようにしてまいります。</li> </ul>            |
| 3 | 必要なときにお子さまの状況を保護者や訪問先施設と伝え合い、健康や発達状況、課題についての共通理解を持って問題を解決していくプロセスが十分ではないと感じられる。 | 連絡アプリやLINE、送迎時にご様子についてお伝えしたり、お話を伺ったりすることで、保護者や訪問先施設と共通理解ができるよう取り組んでおりますが、それをもとにどのように問題を解決していくかの共有が十分ではなかった可能性がある。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡アプリやLINE、送迎時に様子をお伝えしたり、お話を伺ったりすることで、保護者や訪問先施設と、お子さまについての共通理解を持てるようにしてまいります。</li> <li>・その内容をもとにどのような具体的支援が考えらるかを常に念頭において、関係作りや教材のご紹介、支援の提案を行ってまいります。</li> </ul> |